

《原 著》

肺気腫症例における ^{133}Xe gas dynamic SPECT と thin-section CT との比較検討

高橋 一枝* 佐藤 功* 大川 元臣*

要旨〔目的〕肺気腫症例の thin-section CT と ^{133}Xe ガス dynamic SPECT 横断像での ^{133}Xe ガスの洗い出し遅延の程度について比較検討を行った。〔方法〕肺の thin-section CT で気腫性病変を有する 23 症例について、上、中、下肺野等に分割した合計 174 病変の検討を行った。〔結果〕平衡相で欠損となった 3 病変を除いて、CT 重症度と ^{133}Xe ガス洗い出し遅延の程度が対応していると思われたものは 37 病変、CT 重症度より洗い出し遅延の程度が弱いものは 42 病変、強いものは 92 病変であった。CT の重症度と洗い出し遅延の程度は必ずしも一致しないことについて、CT で描出できない末梢気道病変の存在が影響するものと推察された。〔結論〕形態学的な対比のために CT と ^{133}Xe ガス dynamic SPECT との比較検討が必要であるが、換気の動的な解析が可能な ^{133}Xe ガス dynamic SPECT は局所的な換気の評価に有用であると思われた。

(核医学 38: 343-350, 2001)